

平成 29 年度
認定支援機関向け
海外展開支援研修 実践編

事業計画策定編 (2)

～計画のポイント～

講師：問山新司

事業計画のポイント①

事業計画についてコメントを求められたら（製造業の場合）

■ 基礎的事項

- ・ 海外展開の目的
- ・ 為替リスク
- ・ カントリーリスク（商習慣、文化）
- ・ 物流コスト（関税や輸出入コストを含む）

■ 売上

- ・ 販売数量、販売価額の根拠
- ・ 需要見積、販売先の確保や動向
- ・ 競合先の動向
- ・ 納期遵守

事業計画のポイント②

事業計画についてコメントを求められたら（製造業の場合）

■ 製造原価

- ・ 製品品質
- ・ 仕入先の動向
- ・ 追加コスト
- ・ （歩留り率、電力制限、機械メンテナンス、本社派遣など）

■ 人材

- ・ 現地人材の確保
- ・ 賃金上昇
- ・ 競合先の動向

事業計画のポイント③

事業計画についてコメントを求められたら（製造業の場合）

■ 組織

- ・ 管理人材の確保
- ・ 法人管理（不正防止体制を含む）

■ その他

- ・ 現地パートナーとの協調
- ・ 日本本社とのコミュニケーション

Q.

復習問題

事業計画策定編（2）

問題

事業計画についてコメントを求められた際のポイントとして正しいものはどれでしょうか？

- ① 海外展開が成功すれば良いので、海外展開の目的は確認しなくて良い
- ② 賃金上昇は国や地域によっては10%を超えることもあるので、計画で検討されているかを確認する
- ③ まずは海外法人等を立ち上げることが重要なので、法人管理方法は計画時には確認しない

Q.

復習問題

事業計画策定編（2）

解答

② 賃金上昇は国や地域によっては10%を超えることもあるので、計画で検討されているか確認する

- ① 目的に合致した進出計画でなければ成功は難しいです。
海外に行くことが目的になってしまっているように見える場合も。
- ② 賃金上昇は特にアジア地域では顕著なので、重要なポイント
- ③ 海外法人の管理は計画時に方向性を決めておく方がよいです